

2018年度 徳島大学 前期理系 第2問

問題 $0 < \theta < \frac{\pi}{4}$ とする。曲線 $y = \frac{1}{x}$ 上に点 $P(1, 1)$ をとり、 $\angle POQ = \theta$ となる点 $Q(x, \frac{1}{x})$ ($x > 0$) をとる。ただし、 O は原点とする。

(1) $x^2 + \frac{1}{x^2} = \frac{2}{\cos 2\theta}$ が成り立つことを示せ。

(2) $\angle POQ = \theta$ となる点 Q はちょうど2個存在することを示せ。また、 $\theta = \frac{\pi}{6}$ のとき、その2点間の距離を求めよ。

(3) 点 Q を与える2点を $Q_1(x_1, \frac{1}{x_1})$, $Q_2(x_2, \frac{1}{x_2})$ ($x_1 < x_2$) とする。さらに、 $a_1 < 0 < b_1$ とし、4点 $A(a_1, a_2)$, $B(b_1, b_2)$, $Q_3(-x_1, -\frac{1}{x_1})$, $Q_4(-x_2, -\frac{1}{x_2})$ を考える。 A, B, Q_1, Q_2, Q_3, Q_4 が原点を中心とする正六角形の頂点になるとき、 $\theta = \frac{\pi}{6}$ となることを示せ。また、このときの A, B の座標を求めよ。

N_tokushima2018A_02.pbm